
もういい

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もついい

【コード】

N19040

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

エッセイです。適当に書きました。ふんふんて。

もうやれることを地道にやっていこう。非正規労働が低賃金で地獄だと叫んでも賃金上がるわけではない。いい小説を書いて百万部売れば印税がどかんと入るのだ。そういう世界だ。

まあ一冊も売れなきゃ無収入だけでも。。。

まあそれはそれじゃないな。宮沢賢治なんて生前二冊しか刊行してへん。ゴツホは二枚しか売れてへん。

んで死んでから何億だろ。ゴツホ、天国でめっちゃキレてるわ。壁蹴飛ばして「いてえ！」と叫んでるわ。

てか、電撃文庫を計算してみたらえらいことだ。五百円かける八千部かける0.6で、24万円！！

おいおいおいという感じである。一冊書くのにだいたい三ヶ月かかるわ。てことは、月給8まん?????

バイトでも13万は稼げるぞ。

最悪な仕事である。「楽しいこととして食べていいですねえ」なんてほざくサラリーマンは反省せえ。なら手前もやってみろ。

ただね。高校生は小遣い少ないからね、五百円もきついよ。それを買ってくれるのはありがたいね。キスしたいね。

ブックオフで買うやつはどうや。印税ゼロやぞ。

ただね。今は不況でみんな低所得だからね。ブックオフないと、読書率かなり下がるよ。図書館なんて新刊一冊しか入らないもん。何ヶ月も待たんと読めん。

悪いのはブックオフや。ブックオフのあほめ。作家を苦しめやがって。

と怒ってもむだだ。ブックオフの店員、給料安い。

ブックオフで買えば、その作家のファンになり、また新刊を買う。

つまり、ブックオフの店員はただで宣伝活動をしてってくれるわけで、頭が上がらないすよ。

だいたい、オレも筒井康隆の本はほとんどブックオフで仕入れてた。筒井師匠は名の知れた作家だけど、東野や伊坂といったぶりぶりの作家ではないので、新刊書店ではあまり置かれないのだ。ブックオフがなければオレは筒井康隆を知りえなかった。筒井康隆の影響で小説書いてるわけだから、ブックオフには大感謝の嵐である。

でもやっぱり印税がもらえないのはムカつくね。それは仕方ない。苦労して書いた本を百五円で売るとは何事か。ふざけるな。

まあでも今はみな低所得だから。

くそつたれ！作家はもつと低所得だ！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1904o/>

もういい

2010年10月12日01時04分発行